



第40号

令和4年8月10日発行

公益社団法人
和歌山市シルバー人材センター
〒640-8157 和歌山市八幡丁4番地
TEL (073) 431-1270(代)
432-4680
FAX (073) 431-6272



令和4年度 定時総会を開催

新役員紹介

総会当日、新役員が選任されましたので紹介します。

【新任役員】

理事 中村智裕

監事 森永起久夫

なお、理事1名、監事1名が辞任されました。

長年にわたり、ご貢献いただき、ありがとうございます。

【辞任役員】

理事 雑賀将吉

監事 入山喜一郎

理事長の挨拶

理事長 山下 直樹



会員の皆様には、ますますご健勝で、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、当センターの発展のため、ご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

一昨年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に見舞われ、私たちの社会経済活動は大きなダメージを受け、当センター事業運営につきましても例外ではありません。

本年度も定時総会は、感染防止対策のため、極力、出席者数を抑えて実施させていただきました。

人口減少・少子高齢化が進展する中、高齢者の皆様の豊富な知識や経験を活かした就業やボランティア活動などを通じて、健康や生きがいを見出し、地域社会に貢献するシルバー人材センターの役割は、ますます重要なものとなってきています。

しかしながら、全国的にコロナ禍の影響もあり会員数が減少傾向にあることを真摯に受け止め、会員皆様方のご協力を賜りながら、様々な場所や機会を捉え、また、テレビや新聞などのマスメディア

を通じ積極的に広報活動を展開し、現時点では、昨年同時期を上回るまでに回復してきました。

社会が刻々と変化する中、デジタル推進、女性活躍推進、退職者層への働きかけなど、時代の変化やニーズを敏に捉え「会員の拡大」「新たな就業開拓」「安全・適正就業の徹底」に積極的に取り組んでまいります。

「自主・自立、共働・共助」の理念の基、市民の皆様から喜ばれ、信頼される魅力あるセンターづくりに、職員一同鋭意努力を重ねてまいりますので、会員の皆様におかれましては、なお一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今後の主な行事予定

令和4年度

- ▽理事長会
- ▽地域班班長会議
- ▽職群班班長会議
- ▽総務委員会

▽就業開拓委員会

▽安全・適正就業委員会

▽安全・適正就業講習会

▽未就業会員相談会

▽植木剪定講習会

▽草刈機使用講習会

▽社会奉仕活動

地域活動への貢献とセンターのPRのため、和歌山城周辺の除草・清掃活動を行う予定です。

西庄ふれあいの郷

当センターが、指定管理者となつて管理を受託している西庄ふれあいの郷では、メディアの取材対応や各種イベントを行いました。

〇WAKAIブニング(テレビ)

の取材対応(4月13日)

テレビ和歌山から「ハーブ園」のラベンダーの開花時期やハーブティーの販売情報などの取材があり、山下理事長がお笑いコンビ「ワンダーランド」のインタビューに応じ、生放送で放映されました。

〇わがまち和歌山(テレビ)の取材対応(5月2日)

和歌山市の広報番組である同番組から満開のラベンダーやハーブティーの販売風景、そして、当園を管理する山田会員がインタビューに応じて魅力を伝えました。この内容は5月19日と26日にテレビ和歌山で放映されました。



〇ハーブティー販売を行いました。(4月28日～5月8日)

ゴールデンウィークの期間中、当園のハーブを乾燥させて淹れたハーブティーを販売し、多くの方に好評を得ることができました。今後は販売の機会を増やしていく予定です。

〇ハーブ教室(5月23日)

満開で好条件を迎えた当園のラベンダーを摘み取って、それに生花を組み合わせて中心をリボンで束ねた流行のバレリーナブーケを33名の参加者が熱心に作成して楽しんでいただきました。



講師「ミル・フルール」

長井摩珠様

◎花摘み体験 (5月25日)

昨年、コロナ禍のため中止して
いました本イベントを今年は開催
しました。午前の部・午後の部を
合わせた延べ93名の参加者が満開
のラベンダーやローズマリーを摘
み取って持ち帰り、最後まで楽し
んでいたできました。



また、午後の部には尾花正啓和
歌山市長が臨席くださり、祝辞と
当センターへの応援の言葉を述
べ、その後も実際に刈り摘みを体
験いただきました。

◎ハーブの苗販売のお知らせ

・ハーブの苗を210円で販売
しています。

◎今後のイベント予定

- 10月 ゲートゴルフ大会
- 11月・12月 ハーブ教室
- 3月 挿し木体験



知る^{シル}バー・コラム

『和歌山市消防局防災学習センター体験学習に参加して』

風薫る新緑の美しい季節となつた5月20日、私たち木本班13名は「巨大地震」「津波」「火災」「風水害」などに遭遇した【その時あなたは】をテーマに体験学習を行つた。

和歌山市消防局に10時集合、3階のセンターで消防局係員の方の出迎えを受け、真つ先に応急手当としての心マッサージのやり方、AED(自動体外式除細動器)の使用方法を参加者の何人かが実際に行った。これは大変参考になつた。



次に床一面に描かれた和歌山県の地図と南海トラフの位置を見ながら巨大地震の後の巨大津波の到達時間、次に映像で過去の巨大地震及び災害がどれくらいの頻度で襲ってくるかを学習、さらにテレビ画面を使って、フライパンの天ぷら油に火が付いた想定で全員が消火器を使って消火訓練、消火液が無くなって火が消えず天井まで燃え上がるケースもあった。最後にこの日のハイライトであるVR防災体験車(和歌山と東京に2台しかないそうです)に乗車、専用のVRゴーグルとVRチェアで、地震、火災等刻々と変化するリアルな災害状況を体感した。



90分の体験であったがとても有意義な1日であった。皆さんもぜひ体験してください。

〔補足〕終了後、私たち全員、和歌山城ホールの展望テラスで若葉が飛び出してこちらに迫ってくるような和歌山城を観ながらお弁当をパクパク、100円バスに乗って帰宅の途についた。

(記 木本班班長 宮原芳雄)

安全就業を目指して

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としています。日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を会員一人ひとりが維持し、実行する事が重要です。会員全員が事故防止意識を持って「事故ゼロ」を目指して安全就業に心がけましょう。

◎安全心得10か条

①作業は安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないこと。

②器具類は、使用する前に必ず点検すること。

③服装・履物は作業に合った動きやすいものにする。

④作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。

⑤諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。

⑥作業現場は常に整理整頓に心がけること。

⑦共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。

⑧酒気を帯びての就業は、絶対につつしむこと。

⑨健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。

⑩仕事の前日は、充分睡眠をとるよう心がけること。



事務局より

○植木剪定・草刈りのできる方を募集しています



センターの仕事のうち、植木の剪定や草刈りの仕事は発注から長い間お待ちいただき、発注者にご迷惑をお掛けしています。センターとしても頭の痛い課題です。そこで、会員のうちで植木の剪定ができる技術を持った方や夏場の草刈りもできる頑健な方を募集しています。やってみようと思われたい会員は、事務局まで連絡してください。

また、お知り合いにそのような方がいれば、ぜひ入会してください。よろしくお願いいたします。

○会報記事を募集します



川柳や俳句、自慢の写真等や、同好会の参加募集記事等を募集いたします。掲載希望の方は連絡ください。

○就業報告書についてのお知らせ。

配分金明細書の迅速な発送に努めるため、締め切り日の変更をいたします。つきましては、就業報告書を郵送していただく場合、就業した翌月の2日までに投函してください。まことに勝手ではございますが、ご協力の程よろしくお願いたします。

